

みどりの杜俳句会

部屋に飾り真鯉のみなり鯉のぼり

木元 弘子

山若葉縁に作務衣をたたみをり

石楠花の蕾の堅くふくらみぬ

八ツ目鱈

佐山けさ子

関口 侑子

カチカチと切り煮てくれし

山の家若葉の風に衣干す

到来のたらの芽天ぷら盛り合はす

亡父想う今視力おとろえ

高橋 きみ

野口利江子

渡邊美枝子

山斜面一重山吹横並らび

行き帰り園児ら見守るつばめの巣

青風檜の梢を揺るがして

田村 好子

神田 昌美

移るふ季を留むる術なし

山吹の手折りて夫へ供へけり

一年生未だ友出来ず歩の遅れ

坂本 美江

馬場 芳

大竹 祐也

杳き日の思い出残し二人静

山青葉元氣にいと伝へたし

仕事場の窓に映りて花さつき

敷地の石垣に今も咲きつぐ

飯野はつ志

小林 和幸

白石 礼子

ゆらぎつつ木々の芽吹くや詣道

亀泳ぎ落花に濁る小沼かな

夕の陽に輝く若葉に魅入りつ、

梅沢きくえ

岡部富美子

家族と猫らとバーベキュー

山桜風に乗りつつ溪へ散る

川岸に白く連なり花筏

渡邊阿里子

山崎 才子

土屋 厚子

目の前の山に桜の真白かな

鶯のひと啼き長し朝の森

鈴木 啓子

初雁 功子

みどりの杜花爛漫の真昼かな

山へ向き頬紅潮の武者人形

吉田 愛子

山田 美子

食すすみ油炒めの露ん棒

高橋 ツ子

足軽くりハビリ道の黄水仙

今村千鶴子



白石短歌会

人権シリーズ

『2020東京五輪』

380

男女雇用機会均等法ができてから40年近く経ち、共働き世帯が半数以上に増えているそうです。諸外国に比べるとまだまだですが、徐々に女性の政治家や会社役員も増えています。

最近では、厚生労働省の履歴書から性別は任意になり、配偶者欄はなくなったと新聞に載っていました。男女平等はもちろんトランスジェンダーの人にも配慮した結果のようです。

これも、男女平等に教育を受けた世代が社会の中心になり、「個」を尊重する社会になりつつあるからだと思います。

しかし、前東京五輪・パラリンピック大会組織委員会長の女性蔑視発言等により、残念ながら海外からはまだまだ男女平等には程遠いと思われるようになりました。日本のスポーツ界では、女性選手は増えてきましたが、指導者や役員はまだほんの一握りしかいません。

五輪憲章では男女平等をうたっています。そのため、東京五輪は新種目が増え、女性の参加者数が過去最大になる予定です。女性がより一層活躍する大会になり、その後のスポーツ界を牽引する人材が育ってほしいと思います。

各地で聖火リレーが行われ、開幕が迫ってきました。早くコロナ禍が終息して普通にできることを祈るとともに、素晴らしいプレーを期待し、楽しみたいと思います。

東秩父村スポーツ推進委員長 栗島 昇子